

平成 27 年度

後期高齢者医療特別会計

主要施策 成果の報告書

京都府 木津川市

目 次

決算の概要	2
決算の状況		
後期高齢者医療特別会計決算の状況		
1. 歳 入	3
2. 歳 出	3
主要施策の成果		
1. 歳入の概要	4
2. 歳出の概要	5

平成27年度 後期高齢者医療特別会計 決算の概要

1. 決算規模・決算収支

(1) 決算規模

平成27年度の決算規模は、

歳入 692,706,280 円 (前年度 656,707,895 円)

歳出 685,068,723 円 (前年度 647,775,344 円)

となり、決算規模の対前年度比較は、歳入が 35,998,385 円、5.48%の増、歳出が 37,293,379 円、5.76%の増となった。

(2) 決算収支

*実質収支

平成27年度の歳入歳出差引額(形式収支)は、7,637,557 円で翌年度に繰越すべき財源はないため、実質収支の額も 7,637,557 円となった。

*単年度収支

今年度の実質収支(7,637,557 円)から前年度の実質収支を差し引いた単年度収支は、△1,294,994 円となった。

*実質単年度収支

今年度の単年度収支(△1,294,994 円)に加える基金の積立金の実績がなかったため、実質単年度収支の額も△1,294,994 円となった。

2. 歳入

平成27年度の歳入総額は、692,706,280 円となり、前年度と比較すると 35,998,385 円(5.5%)の増となった。

3. 歳出

平成27年度の歳出総額は、685,068,723 円となり、前年度と比較すると 37,293,379 円(5.8%)の増となった。

歳出の概要は、次のとおりである。

平成27年度の保険料等負担金は、特別徴収・普通徴収あわせて 528,959,929 円となった。

また、低所得者への保険料負担軽減にかかる負担金は、106,714,371 円となった。

保健事業につきましては、健康診査委託料として 22,660,258 円、人間ドック事業委託料として 14,613,197 円の支出、合計受診者数は 2,467 人、受診率 36.2%となった。

平成28年3月31日現在被保険者数 7,016 人(対前年度比 5.2%増)

後期高齢者医療特別会計 決算の状況

1. 歳 入

(単位：円、%)

項 目	平成27年度決算額 ①	平成26年度決算額 ②	増減 ①－②	増減率
1. 保険料	528,251,606	506,719,002	21,532,604	4.2
現年度分特別徴収保険料	314,776,390	304,589,491	10,186,899	3.3
現年度分普通徴収保険料	211,001,693	199,295,044	11,706,649	5.9
滞納繰越分普通徴収保険料	2,473,523	2,834,467	△ 360,944	△ 12.7
2. 使用料及び手数料	74,300	83,300	△ 9,000	△ 10.8
3. 寄付金	0	0	0	—
4. 繰入金	126,555,000	118,523,102	8,031,898	6.8
5. 繰越金	8,932,551	6,119,598	2,812,953	46.0
6. 諸収入	28,892,823	25,262,893	3,629,930	14.4
合 計	692,706,280	656,707,895	35,998,385	5.5

2. 歳 出

(単位：円、%)

項 目	平成27年度決算額 ①	平成26年度決算額 ②	増減 ①－②	増減率
1. 総務費	3,737,468	3,794,462	△ 56,994	△ 1.5
1. 総務管理費	2,729,285	2,553,404	175,881	6.9
2. 徴収費	1,008,183	1,241,058	△ 232,875	△ 18.8
2. 後期高齢者医療広域連合 納付金	635,674,300	605,695,082	29,979,218	4.9
3. 保健事業費	39,318,433	34,320,620	4,997,813	14.6
4. 諸支出金	6,338,522	3,965,180	2,373,342	59.9
合 計	685,068,723	647,775,344	37,293,379	5.8

主要施策の成果

1. 歳入の概要

(1) 後期高齢者医療保険料

平成27年度における全体の調定額は537,128,280円で、前年度と比べて20,335,666円(3.9%)の増となった。そのうち現年度分特別徴収の調定額は313,480,004円で、前年度と比べて9,624,522円(3.2%)の増となった。また、現年度分普通徴収の調定額は213,519,482円で、前年度と比べて10,540,976円(5.2%)の増となった。保険料納付については、特別徴収(年金天引き)を基本としており、普通徴収へ切り替えを希望される場合には口座引き落としによることとして、確実な収入の確保に努めている。

一方、滞納繰越分の調定額は10,128,794円で、前年度と比べて170,168円(1.7%)の増となった。

次に、収納額については、現年度分の特別徴収は314,776,390円(還付未済額を含む)で収納率は100%、現年度分の普通徴収は211,001,693円(還付未済額を含む)で収納率は98.8%で、前年度と比べて0.7ポイントの増となった。滞納繰越分は2,473,523円で収納率は24.4%となった。

未納者に対しては、督促状に加えて催告書の送付、分納等の納付相談等を行い収納率の向上と医療制度運営のため公平性の確保に努めている。

(2) 使用料及び手数料

後期高齢者医療保険料の納期限後(督促状発布後)の納付について、木津川市後期高齢者医療に関する条例第5条の規定に基づき督促手数料74,300円を徴収した。

(3) 寄付金

寄付金については、平成27年度は、0円となった。

(4) 繰入金

一般会計からの繰入金として、事務費等に係る経費に5,933,000円、保険基盤安定負担金として106,715,000円、健診事業に係る市の負担経費として13,907,000円を受け入れた。

(5) 繰越金

繰越金については、平成26年度からの繰越金で8,932,551円となった。

(6) 諸収入

その他の収入として、後期高齢者医療保険料の延滞金62,700円、保険料還付金1,455,625円、後期高齢者健康診査補助金11,829,529円、人間ドック事業に対する特別対策補助金15,544,969円を収入した。

2. 歳出の概要

(1) 総務費

後期高齢者医療保険事業運営に伴う必要経費として 3,737,468 円を支出した。前年度に比べて 56,994 円 (1.5%) の減となった。被保険者証の発行や給付額決定通知等に係る一般管理事業費、保険料の賦課や収納にかかる経費を支出する徴収事業費、また平成 23 年度から滞納処分にかかる経費を支出する滞納処分事業費を設置しており、それぞれの事業目的に応じて印刷製本費、通信運搬費、消耗品費、口座振替手数料等を支出した。

(2) 後期高齢者医療広域連合納付金

京都府後期高齢者医療広域連合に対する納付金として、特別徴収及び普通徴収により徴収した保険料を 528,959,929 円、低所得者にかかる保険料負担軽減に対する後期高齢者支援金を 106,714,371 円、それぞれ拠出した。

(3) 保健事業費

被保険者の健康管理及び医療費の抑制を図るため、後期高齢者被保険者を対象とした健康診査事業と人間ドック事業を実施した。

健康診査事業委託料として 22,660,258 円 (2,095 人受診、受診率 30.7%) を支出した。前年度と比べて 1,649,493 円の増 (受診者 146 人増加、受診率 0.8 ポイント増加) となった。

また、人間ドック事業は平成 22 年度より実施している事業で、事業委託料として 14,613,197 円 (372 人受診、受診率 5.5%) を支出した。前年度と比べて 3,278,531 円の増 (受診者 43 人増加、受診率 0.4 ポイント増加) となった。

健康診査事業と人間ドック事業の合計受診者数は 2,467 人、受診率は 36.2% で、前年度より 189 人増加、受診率は 1.3 ポイント増加した。

加えてこれら事業にかかる事務経費として、郵送料 921,778 円、発送業務等委託料 1,123,200 円を支出した。

(4) 諸支出金

平成 27 年度においては、過年度過誤納還付金 1,455,625 円を支出した。

納付された保険料は当該年度に京都府後期高齢者医療広域連合に納付しているもので、過年度保険料を償還金支出により還付した金額については、京都府後期高齢者医療広域連合から歳入で受け入れるしくみとなっている。